

◆道路と除雪

都市基盤の根幹をなす道路は、町民の日常生活にもっとも身近で、人々の移動や車輛運行に欠かせない重要な社会基盤であります。

これまで本町では、状況に応じ緊急性や必要性など優先順位を付けながら整備を進めてまいりましたが、昨今の厳しい財政事情の下、十分な予算確保が難しい状況にあります。

町道整備においては、北7条東通歩道造成工事の継続、西1丁目通3号（都通り）道路改良工事、北2条西通道路改良工事、高砂団地仲通道路改良工事、東5丁目通2号道路改良工事を実施するほか、南1条東通道路改良工事測量設計、東2丁目通道路工事測量設計と東六郷川改修工事設計に着手してまいります。

なお、道々ニセコ高原比羅夫線（ひらふ坂）道路改良事業の電線地中化に伴う、配線引き込み事業に対する負担金についても改めて予算を計上いたしました。

また、橋梁については、今後の国庫補助の採択基準とされる「橋梁長寿命化計画」の策定を引き続き行なうとともに、昨年度調査設計した八雲橋の修繕工事を行うことといたしました。

一方、冬期間の除雪対策は、本町が抱える最重要課題であり、町民生活路線の確保と、除雪体制の維持・強化を図るため、事業予算確保と民間委託を進めながら、除雪経費の節減と効率化に努めてまいりました。

本年度は、経年劣化による馬力低下が著しい除雪ドーザを更新し、機動力の向上を図るとともに、策定から10年経過した「雪対策基本計画」は、除排雪体制の効率化及び高齢者や除雪弱者対策の検討など、全般的に見直した計画を策定することといたしました。

また、私道等に対する助成は、引き続き、除排雪経費の一部を補助することとし、冬期間の生活環境の確保を図ります。